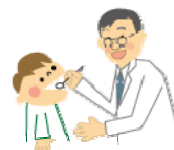


矯正治療のながれ おとなの場合

初診相談 約1時間 1,000円

(レントゲン撮影がある場合 追加3,000円)

どんな治療になりそうか、どれくらいの金額、期間になるかをお話しします。



検査 約2時間 20,000円



3～4週間後



診断 約1時間 20,000円

検査の結果の説明と今後の治療方針についてご説明いたします。



治療 約1年半～2年程度 (症状の難易度により変わります)

基本料金 440,000円～660,000円 (症状の難易度により変わります)

440,000円 (骨格や歯に問題がなく歯を抜かずに半年程度で治療できる症例)

550,000円 (骨格や歯に問題がなく歯を抜かずに1年程度で治療できる症例)

660,000円 (骨格や歯に問題がなく歯を抜いて1年程度で治療できる症例)

この他に骨格に問題がある、歯の数に問題がある場合は、別途お見積りとなります。診断時に見積りを差し上げます。

月1回の通院の調整料 6,000円 (表側)

検査 約2時間 20,000円



保定 矯正装置撤去後2年間の通院

おおよそ3か月, 6か月, 12か月に1回程度 30分 保定料 4,000円

矯正治療のながれ こども(小学生)の場合

初診相談

約1時間 1,000円 (レントゲン撮影がある場合 + 3,000円)

口の中の診察、写真撮影、レントゲン撮影などを行い、矯正治療が必要か、どのような治療になるか、金額がいくら程度になるか説明いたします。



検査 約2時間 20,000円

診察、口の中の写真、顔の写真、レントゲン撮影、歯型採りなどを行います。



診断 約1時間 20,000円

検査の結果、今後の治療方針(抜歯の有無・本数、装置の種類など)についてご説明いたします。



一期治療(小学生)

基本料金 220,000~440,000円
難しい症状は別途お見積もりが必要です。

成長観察



二期開始検査 約2時間 20,000円



二期治療(中学生~高校生)

基本料金 330,000~440,000円
難しい症状は、別途お見積もりが必要です。



保定 3か月に1回程度 30分 保定料 4,000円

装置を外すと後戻りが起きるため、それを防止するための装置(リテーナー)を使っていただきます。来院時に装置のチェックを行います。矯正治療終了後1年間は、特に後戻りがしやすい状態となりますので、フルタイムの使用が必要です。



よくある質問にお答えします。

お支払いについて



Q 支払方法は、どんなものがありますか？

A 基本施術料は、現金、振込、ローンの3種類です。

それ以外の初診相談料、検査料、診断料、月々の調整料、インプラントア埋入処置料は、現金、クレジットカードのいずれかでお願ひしています。

Q 分割払いできますか

A できます。

アプラスのデンタルローンをご用意しています。

ローンは、最長84回払いにすることができます。

インターネットでシミュレーションすることができます。

(アプラス カンタンローン計算 で検索し、実質年利4.5%で計算してください。)



Q 一部を現金一部をローンにすることができますか？

A できます。

Q 医療費控除は受けることができますか？

A 医療費控除の対象となります。(部分矯正、美容目的以外)

Q 保険で診療を受ける事が出来ますか？

A 以下の場合には保険が適用となりますが、当院では保険診療を行っておりませんので、他の病院をご紹介します。

1. 口蓋裂や口唇裂などの先天的な咬合機能異常
2. 外科的な治療が必要な顎変形症

Q 家族で治療を始めたいと考えています。何か割引はありますか？

A 2人目の治療前の検査料より5,000円を割引させていただきます。



主な矯正装置の種類と特長

ワイヤーやブラケットを使う矯正や、ワイヤーを使わないワイヤレス矯正、歯の裏側につける舌側矯正など、いろいろな矯正装置があります。患者様のご希望によって治療は様々です。まず代表的な6タイプの装置の特徴をご紹介します。

金属ブラケット

歯の表側に接着する装置で、金属製のブラケットです。矯正治療と聞いて多くの方が想像するのが、この金属製のブラケットではないでしょうか。

当院では、お取り扱いしておりません。

メリット

- 金属製のブラケットは丈夫で、特に表側矯正はいろいろな症状の不正咬合治療に対応することができる
- 他の装置に比べて安価なため、治療費を抑えることができる

デメリット

- 装置が銀色のため目立つ
- 近年小型化されつつありますが、他の装置と比較すると目立つ

審美ブラケット

白や透明色の目立たない色のブラケットを審美ブラケットといいます。金属ブラケットよりも目立ちませんが、表側につけるので、装置自体は見えます。



メリット

- 金属ブラケットと同様に多くの種類の不正咬合に対応することができる
- 非金属製のブラケットなので金属アレルギーの人でも使用が可能

デメリット

- 金属ブラケットに比べ、費用はやや高額
- 金属ブラケットと比較すると、多少強度が弱い

片側 55,000円

セルフライゲーションブラケット

従来の表側矯正装置よりも、ワイヤーとブラケットの摩擦力をより軽減させた設計の装置。痛みが軽減したり、効率的に治療できるといわれています。



メリット

- ワイヤーとブラケットの摩擦が少なく、痛みが少ない
- より効率的に歯が動くので、従来の装置より通院頻度が少ない

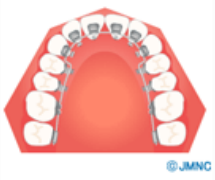
デメリット

- 従来の表側装置と比べて、費用はやや高額
- 従来の表側装置よりも装置のサイズが大きい

片側 55,000円

裏側矯正

歯の裏側に装着するブラケットです。表からは見えないので、周囲の人から気付かれずに治療できます。特殊な装置なので歯科医師の経験が必要です。



メリット

- 周囲の人から気付かれにくい
- 歯の裏側は虫歯になりにくい特性があり、表側矯正より虫歯になりにくい
- 舌癖(自然に舌で歯を押す癖)が改善しやすい

デメリット

- 慣れるまで違和感を感じたり、発音がしにくい場合がある
- 表側矯正とくらべて料金が高い

上下 440,000

ハーフリンガル矯正

表側矯正と裏側矯正とを併用した矯正治療です。上顎の歯は裏側に、下顎の歯は表側に装置をつけて治療します。



メリット

- 人から見やすい上顎は、歯の裏側に装置をつけるので目立ちにくい
- 話すときに舌があたる下顎は表側装置なので発音の邪魔になりにくい
- 裏側矯正とくらべて料金が安い


デメリット

- 表側矯正とくらべて料金が安い
- 裏側装置と同様に、治療経験と技術がある歯科医院が少ない

上下 220,000~275,000

マウスピース矯正

ワイヤーやブラケットを使わず、透明で薄いマウスピース型の装置を用いて歯を動かします。装置は自分で取り外し可能です。



メリット

- ワイヤーやブラケットを装着しないので、発音障害や不快感が少ない
- マウスピースは薄くて透明なので、周囲の人からほとんど気づかれない

デメリット

- 指定された装着時間を守らないと治療の結果に影響を及ぼすことがある
- 治療できる症状が表側矯正よりも限定されている

上下 220,000

矯正治療について

矯正治療は、歯並び・咬み合わせ・上下唇など口元の状態をきれいで調和のとれた状態にすることが目的です。また、きれいな歯並び・咬み合わせ・きれいな笑顔になるだけでなく、むし歯や歯周病・顎関節症などの予防につながります。

矯正治療に年齢制限はなく、何歳でも治療をすることが出来ます。ただし、全身疾患や歯周病などにより制限を受けることがあります。また、年齢は若い方が歯が動きやすく、痛みが少ないという利点があります。

治療目標・治療方法は患者様の最も気になっている点（主訴）やご希望をうかがいながら、ご相談のうえ組み立てていきます。歯並び・咬み合わせを整えるだけでなく、上下唇など口元のバランスを考え、調和のとれた美しい笑顔・顔貌を目指します。

矯正治療の利点、欠点

1) 利点

- ① 歯並びがきれいになり、良く咬めるようになります。
- ② 口腔周囲の軟組織（主に上下唇）のバランスが改善されることにより、唇が閉じやすくなり、顔貌が良くなります。
- ③ 歯みがきがし易くなり、虫歯や歯周病にリスクが軽減します。
- ④ バランスの取れた咬み合わせになり、顎関節や筋肉への負担が軽減されることにより、顎関節症の予防や悪化の防止になります。
- ⑤ 食べ物を良く咬めるようになり、胃腸への負担が軽減します。
- ⑥ 成長期の患者様では、成長に悪影響を及ぼす要因を除去することにより、良好な顎骨の発育を促します。また、成長を利用した治療により、上下の顎の骨の不調和の改善が期待できます。
- ⑦ きれいな歯並びや美しい口元になり、コンプレックスが解消されることにより、自分に自信が持てるようになります。例えば、人前で歯を見せて笑えなかった人が、歯を見せて笑えるようになります。
- ⑧ 自分に自信が持てるようになることにより、積極的な社会参加など社会性の向上が期待できます。また、他の人からの評価・イメージが良くなることが期待できます。

2) 欠点

- ① 痛みがあります。(治療・ワイヤー調整後約3～4日間、咬んだ時に)
痛みの程度には個人差があり、全く痛くない人もいれば、痛くて柔らかいものしか食べられない人もいます。治療が進むにつれ、痛みは小さくなります。年齢が若いほど痛みが小さい傾向にあります。
- ② 歯みがきが大変になります。
今までの通りの歯みがきでは、ブラケットの周りやワイヤーの下がきれいになりません。今までの何倍もの時間がかかります。しかし、歯みがきがうまくできないと虫歯や歯周病になってしまいます。歯磨きがうまくできない場合、治療を中断することもあります。
- ③ 様々なストレスがかかります。
矯正装置の違和感、痛み、歯みがきが大変になること、人の目が気になるなど、様々なストレスがかかります。治療が進むにつれ、ストレスは軽減されていきますが、最初の数ヶ月はストレスを感じるが多くなります。
- ④ 患者様やご家族の協力が必要です。
歯みがきをきちんとして頂く必要があります。また、顎の大きさに問題がある患者様に使用する顎外装値や口の中で使用する顎間ゴムは、治療効果が使用時間に依存します。指示された時間を使用しないと期待した効果が得られず、治療結果に大きく影響します。
- ⑤ 矯正治療により程度の差はありますが、歯肉退縮します。
治療前の歯並び、歯肉の状態、年齢によって歯肉退縮の程度は変わります。歯肉退縮により歯と歯の間に隙間ができて、黒く見える(ブラックトライアングル)ようになることがあります。
- ⑥ 顎関節症の症状や頭痛、肩こり等の症状が希に発現することがあります。
原因として、矯正治療によるストレスや咬み合わせが一時的に不安定になることが考えられます。
- ⑦ 歯根吸収
まれに矯正治療により、歯の根(歯根)が短くなることがあります。治療前に予測することは困難で、結果的に歯の寿命を短くしてしまうことになります。
- ⑧ まれに歯と歯槽骨が癒着していて、歯が動かないことがあります。その時は治療計画・方法等を変更して対応いたします。